

特別支援教育あどばいすタイム

見えにくさのある子どもたちに気づき

見えにくさのある子どもたちを支援するために



令和6年1月29日（月）
徳島県立徳島視覚支援学校

内 容

◆ はじめに ◆

1. 「見えにくさ」のある子どもたちに気づくために
2. ものを見る仕組みとさまざまな見えにくさ
3. 「見えにくさ」に対する支援
4. 本校のセンター的機能について

1. 「見えにくさ」のある子どもたちに
気づくために

気づく

- 視力測定
(スクリーニング)
- 行動観察
(保護者・教員)
- 本人からの
訴え



眼科受診

- 視力検査
- 他各種検査
- 診断
- 治療
- 眼鏡やコンタクト
レンズによる
矯正
- 必要な補装具
の処方

相談・支援

- 教育的視機能評価
遠距離視力 近距離視力
最大視認力
視知覚発達検査 等
- 学習環境の整備
- 拡大教科書の選定
- 必要な視覚補助具の選定と
活用するための練習
- 教材教具の工夫
- 支援する上での工夫や
配慮事項についての相談

「見えにくさ」のある子どもはいませんか？

うちの学級には、
「目が見えにくい子」は
いません。

見えるかたずねると
「見えます」と
答えますよ。



「見えにくさ」のある子どもたちから出た言葉

自分が見えにくいとは
知らなかった。
みんな同じように見えて
いると思っていた。

少しずつ見えにくく
なっていることに
気づかなかった。



「見えにくさ」のある子どもたちから出た言葉

見えにくいと
気づいていたが
言い出せなかった。

見えにくさを訴えたが
わかってもらえなかった。



なぜ気づかれにくいのか？

- ・ 先天的な見えにくさがあり「**はっきり見える**」経験をしていないと「見えにくい」という感覚がわからない。
- ・ 自分の見え方や見えにくさによる困り感を周りの人に言葉で表現して伝えることが難しい。
- ・ 長い期間をかけて見えにくくなった場合、その変化を自覚しにくい。

なぜ気づかれにくいのか？

- ・「見える」という言葉が意味する内容の相違

Q. 漢字の一画一画やとめはらい、風景の全体像、

相手の表情の変化など、細部まではっきり「見えていますか？」

A. 何かが書いてあること、何かがそこにあること、

大まかな様子が、「見えます。」



- ・自分だけが見えにくいこと、人と違うのではないかということを
言い出しにくい。気づかれたくない。隠したい。

「見えにくさ」から派生した困り感

学力不振

意欲の低下

飽きっぽい
集中が短い
不注意
疲れやすい
やる気がない
と思われがち...



自信の喪失

人間関係の
トラブル

「見えにくさ」のある子どもたち気づく

◆園や学校で実施される視力測定は、見えにくさに気づく大切なポイントです。視力測定結果が気になる場合は、必ず眼科を受診するよう保護者に勧めてください。

※年齢や発達の状況などから検査の実施が難しい場合、
「測定困難」として処理せず、本校に相談してください。

◆子どもたちの行動や訴えの背景に、
「見えにくさ」があるかもしれないという視点をもってください。

見えにくさがある子どもはいませんか？ ～チェックポイント～

- 目を細める。
- 横目使いで見る。
- 顔を傾けたり、あごを上げたりして見る。
- 薄暗くなると見えにくそうにする。
- 視線がはずれる。
- 目線が合わない。
- まぶしがる。（外に出るとまぶしがる）
- 片方の目をつぶる。
- まばたきが多い。



- 目をよくこする。
- まぶたが下がっている。
- 目を開けづらそうにする。
- テレビや本に目を近づけて見る。
- よく転んだりつまずいたりする。

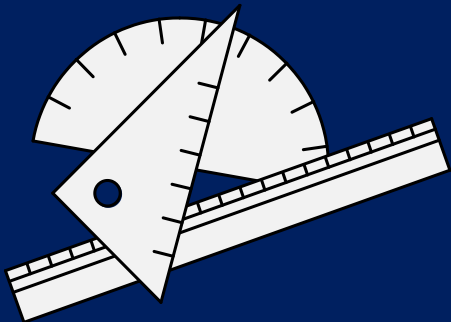
- 物を見つけることが苦手。
- 手先が不器用。
- 絵本や文字に興味がない。
- 大きさ、量、場所のイメージがもちにくい。
- ボールあそびやボール運動などが苦手。



※下線の内容は、視機能の問題だけではなく、他の発達や認知的な問題も考えられます。

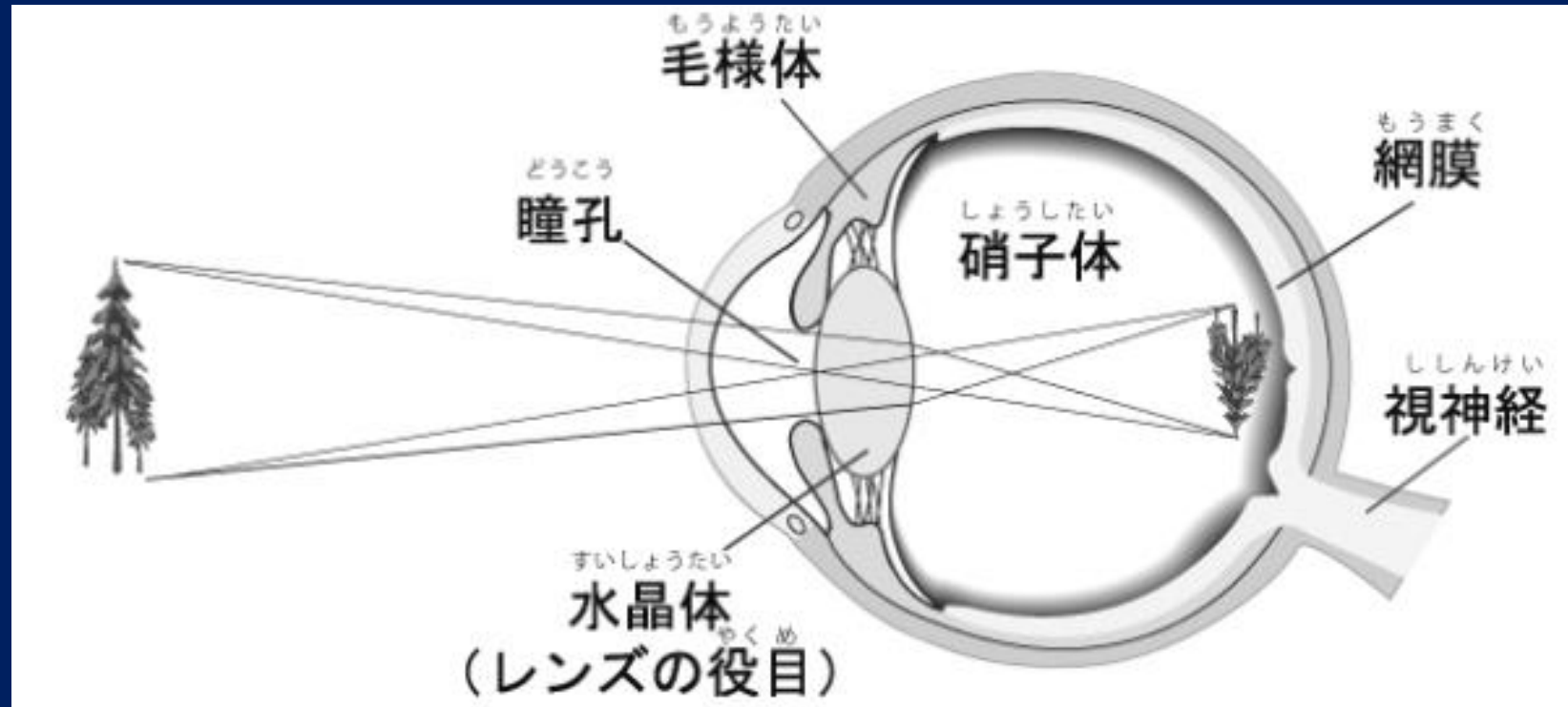


- 距離感がとらえにくい。
- 集中力や落ちつきがない。
- 文字の読み間違いや行の読みとばしが多い。
- 黒板の文字をノートに書き写すのが難しい。
- 枠や行から文字がはみ出す。
- めもりを読むことが苦手。
- 文章を読むのが遅い。
- 漢字や図形が苦手。



※下線の内容は、視機能の問題だけではなく、他の発達や認知的な問題も考えられます。

2. ものを見る仕組みと さまざまな「見えにくさ」



気づく

- 視力測定
(スクリーニング)
- 行動観察
(保護者・教員)
- 本人からの
訴え



眼科受診

- 視力検査
- 他各種検査
- 診断
- 治療
- 眼鏡やコンタクトレンズによる矯正
- 必要な補装具の処方

相談・支援

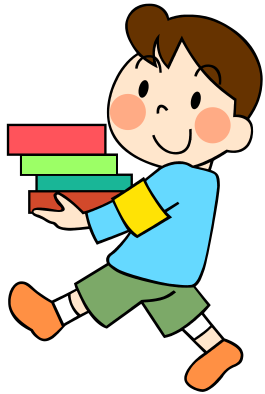
- 教育的視機能評価
遠距離視力 近距離視力
最大視認力
視知覚発達検査 等
- 学習環境の整備
- 拡大教科書の選定
- 必要な視覚補助具の選定と活用するための練習
- 教材教具の工夫
- 支援する上での工夫や配慮事項についての相談

視機能

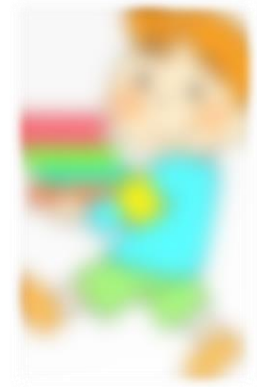
- ◆視力：物体の細かい部分まで見分ける力
- ◆視野：見える範囲のこと
- ◆色覚：色の違いを見分ける力
- ◆光覚：光を感じる力（明順応、暗順応）
- ◆調節・輻輳：ピントを合わせる力
- ◆両眼視：両方の目を使って見る力

視機能のどの部分に不具合があるかによって、見えにくさは異なります。一人一人の見えにくさに応じた支援が必要です。

さまざまな見えにくさ



- ① ピンぼけ状態
- ② 混濁状態
- ③ 暗幕不良状態
- ④ 照明不良状態
- ⑤ 振とう状態
- ⑥ 視野の限定状態
- ⑦ 暗点



眼科を受診し「見えにくさ」の要因に対し、
必要な治療や眼鏡による矯正などをする。

◆「見えにくさ」の要因が、手術や治療が必要な疾患である場合があります。また、遠視・近視・乱視など、眼鏡やコンタクトレンズによる矯正が必要な場合もあります。眼科での診察が必要です。

◆眼科受診結果を踏まえた上で
見えにくさに対する適切な支援を実施することが大切です。

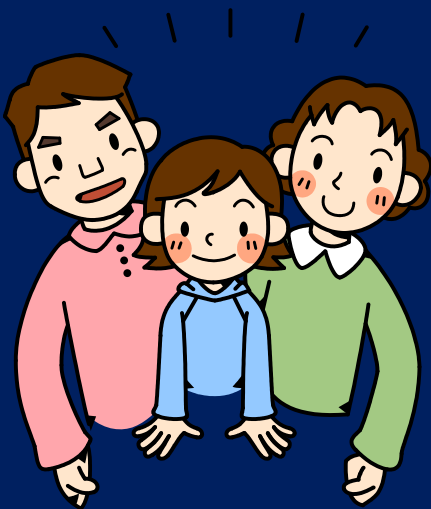


3. 「見えにくさ」に対する支援



気づく

- 視力測定
(スクリーニング)
- 行動観察
(保護者・教員)
- 本人からの
訴え



眼科受診

- 視力検査
- 他各種検査
- 診断
- 治療
- 眼鏡やコンタクトレンズによる矯正
- 必要な補装具の処方

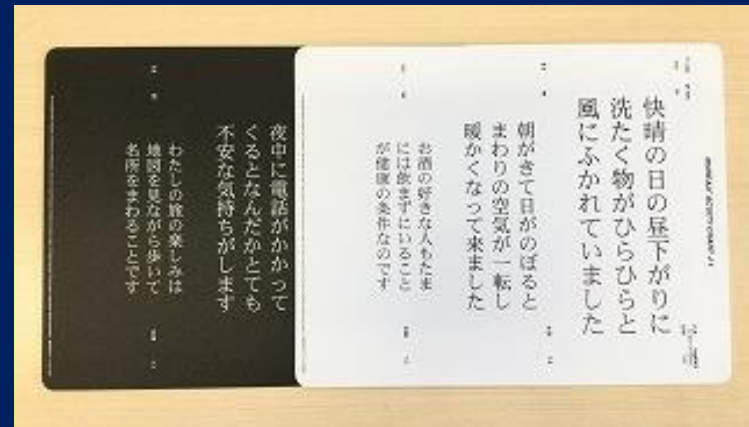
相談・支援

- 教育的視機能評価
遠距離視力 近距離視力
最大視認力
視知覚発達検査 等
- 学習環境の整備
- 拡大教科書の選定
- 必要な視覚補助具の選定と活用するための練習
- 教材教具の工夫
- 支援する上での工夫や配慮事項についての相談

教育的視機能評価

★学習や生活に生かすために
さまざまな視機能进行评估します。

- ◆遠距離視力（視距離 5 m での視力）
- ◆近距離視力（視距離 30 cm での視力）
- ◆最大視認力（最も見やすい視距離で見たときの視力）
- ◆最適読書文字サイズ
（文字を読む際に一番効率良く
読むことができる文字の大きさ）
- ◆視知覚発達検査



学習環境の整備

★見えにくさを補うような
学習・生活環境を整えます。

◆書見台（傾斜机）の活用

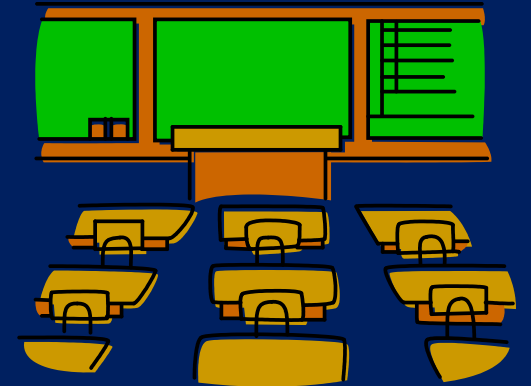
見やすい位置で見ることができ、
体への負担を軽減することができる。



◆明るさの調整

カーテン、デスクライトなどで光量を
調節し、見やすい明るさを保つ。

◆座席位置への配慮



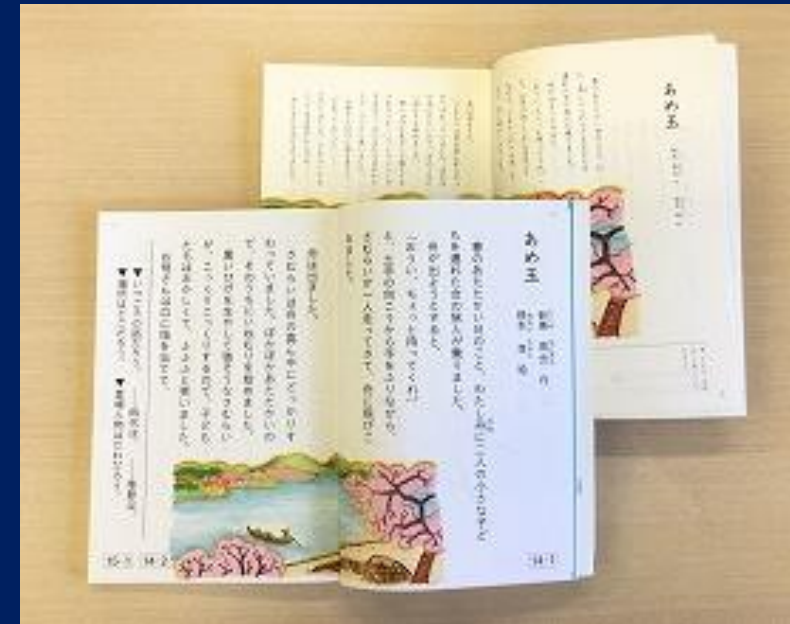
拡大教科書の選定

★対象児・生の視機能を踏まえた、適切な文字サイズの拡大教科書を選定します。

- ◆最適読書文字サイズ、拡大教科書の版（A5、B5、A4）の大きさ、視覚補助具の活用状況等を考慮し、拡大教科書の文字サイズを決定する。
- ◆拡大教科書を使用する上での留意事項
 - ・レイアウトの変更
 - ・ページ数表示の変更 例) P3 →P3-1 P3-2

拡大教科書の活用と再検討

- ◆本人の見え方の状況、視覚補助具の活用状況などを考慮し、拡大教科書の文字サイズや使用について検討する機会をもつ。
- ◆将来を見据え、音声教材やPDF版拡大教科書、視覚補助具の活用も積極的に勧めていく。



音声教材の活用

- ◆発達障害等により、通常の検定教科書で使用される文字や図形等を認識することが困難な児童生徒に向けた教材
- ◆教科書の内容を音声で読み上げるほか、読み上げる箇所のハイライト表示や文字の拡大縮小をはじめ、教材によってさまざまな機能・特色がある。児童生徒の困難の状況に合った教材を選択することが可能。

PDF版拡大図書（教科書）

- ◆ 「UDブラウザ」というアプリで使用する拡大図書（教科書）で文字の拡大機能に重点を置いたもの。
- ◆ 自作教材をPDF形式にしておけば、拡大表示や書き込みもできる。



- ・ 文部科学省ホームページ
 - ・ 各製作・提供団体ホームページ
- 等に詳細な情報が掲載されています。

視覚補助具の選定と活用①



- ◆近用レンズ（近くの小さなものを見る時に使うレンズ類）
→プリント類を拡大しなくてもいい。



- ◆遠用レンズ（遠くを見る時に使う単眼鏡類）
→近づくことができないもの、近づくると危険なものなどを遠くから見ることができる。

※「導入時の練習」と「継続した使用場面」が必要！

視覚補助具の選定と活用②

◆拡大読書器

→高倍率での拡大、白黒反転、
マスキングなどができる。



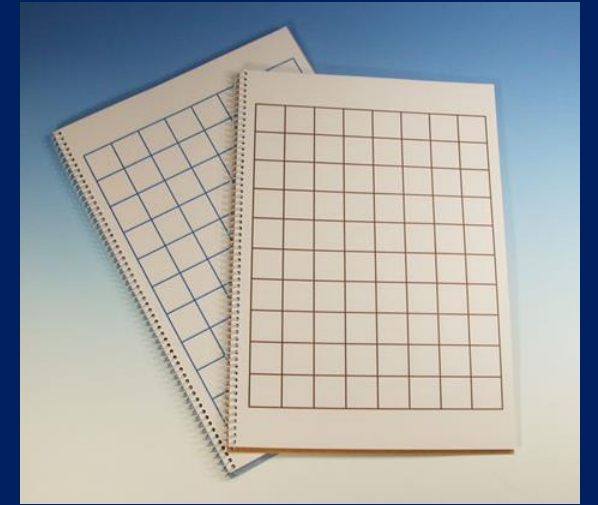
◆タブレット端末、スマートフォンなど

→カメラ機能による拡大に加え
他のアプリも活用できる。

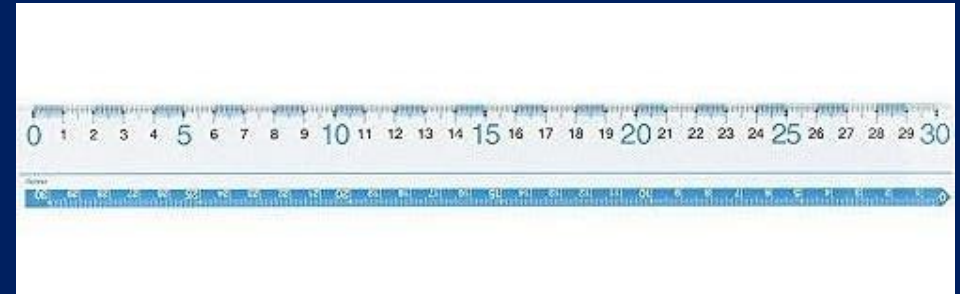


その他

◆見やすい字体やレイアウトの工夫

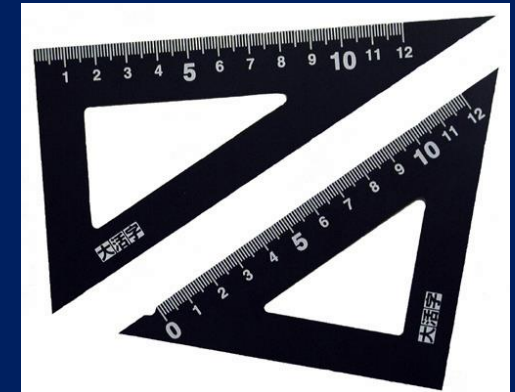


◆罫線が見やすいノート



◆メモリが見やすい定規

◆色彩への配慮 など



4. 本校のセンター的機能について

センター的機能①

- ・地域の視覚障がい等を有する幼児・児童生徒に対して

特別支援教育巡回相談

来校相談

弱視通級指導教室

乳幼児教育相談

等を行い、支援しています。

センター的機能②

【研修支援】

- ・巡回相談員や校内人材バンクから講師を派遣し、児童生徒の学習や、教職員・保護者の研修を支援しています。

視覚障がいについて 色覚について
弱視児の支援について 視覚障がい疑似体験
視覚障がいがある当事者の体験談
点字について 手引き歩行の体験 など

ぜひ、ご利用下さい。